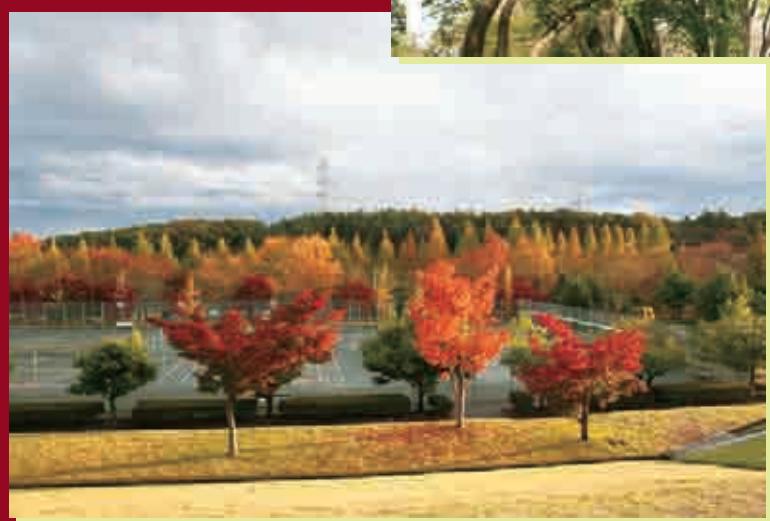
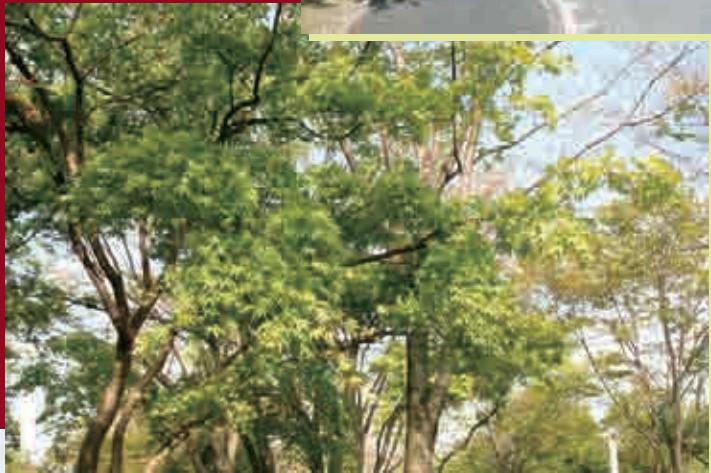


社

早稲田大学本庄高等学院
保護者の会社編集委員会

No. 33



学院長ご挨拶

早稲田大学本庄高等学院
学院長 山崎 芳男



学院長に就任し一年余が経ちました。

昨年4月に新入生を迎へ、念願の全学年の共学が完成しました。うれしい限りですが、校舎はますます手狭になりました。昨今の経済状況の中、何が起るか分かりませんが、新校舎の建設が今年中に始まる予定です。

6月には体育祭、今年は例年の11月ではなく夏休み直後の9月に本庄高等学院の28回目の稲稜祭が開かれ、クラス、部活やホームで日頃培つた成果を披露してくれました。感性豊かなこの時期に、一人一人の

学業とは別な多様な個性に触れることができました。10月には中国、台湾、韓国と3コースで行われた韓国への修学旅行に同行し、安養外国语高等学校との交流など充実した一週間を過ごして参りました。実はこの時期新型インフルエンザが猛威を振るつており、稲稜祭や修学旅行の実施が危ぶまれたりもしましたが、皆様のご協力により一部学級閉鎖は余儀なくされたものの共に実施することができました。12月にはマラソン大会、保護者会、年明けにはホーム、保護者、後援会の新年会、観劇会と様々な行事に参加させていただきました。

心身ともに最も充実したこの時期を、受験勉強を

強いられる事なく過ごすことができる学院生には、これだけは任せてほしいという何かひとつをぜひこの3年間で身につけてほしいと願っています。私の小学校時代20億であつた地球の人口がわずか50年で70億にならうとしています。温暖化、水・食料問題、エネルギーの確保など多くの克服しなければならぬ課題に直面しています。岐路に立つたときにはたとえそれがはるかに陥しい道であつても、自らの判断に従い、迷うことなくあえて困難な道を選択する強い意思と、多様な価値観を認め合う豊かな心を持つた「実るほどに頭を垂るる稲穂かな」というまさに早稲田にふさわしい稲穂に育つてほしいものです。

2004年9月から早稲田大学は従来の学部から学術院体制に変わりました。私の本属は2000年に発足し、2004年から学院と同じ本庄に本拠を置く大学院、国際情報通信研究科です。専門は音響学です。この独立した大学院であつた国際情報通信研究科が2009年4月から理工学部学術院に加わりました。また2007年4月に理工学術院は3学部となり、基幹理工学部に新たにできました表現工学科も兼務しております。本庄高等学院の卒業生も数名進学しております。

オープン教育センターでは全学部の特に1、2年生を対象に広島長崎連携講座「平和学」、「ユネスコの文化・技術活動への参加」、「イスラム科学の多様性と可能性」など最大25名のゼミ形式の演習科目ティマカレッジも担当しております。本庄高等学院の卒業生とはオープン教育センターの設置科目やティマカレッジ、理工学部や本庄の大学院の研究室で卒業研究、修士課程と一緒に過ごしたことあります。研究室で一緒に過ごした数名の本校卒業生は、立派な研究成果をあげ、社会人として活躍しています。卒業生と様々な形で大学で会えるのを楽しみにしています。

世界の人口が増えているにもかかわらず、ともすれば一極集中の方向に向かいつつあります。皆さんはこれから多様な人々と出会い、多様な考え方、生き方を互いに認め合い、多様性の大切さを身につけてください。皆さんにとつて生きていく上で様々な「ノウハウ know-how」も大切でしようが、家庭、地域社会、そして学院生、大学、社会で知り合う多様な人々「ノウフー know-who」が遙かに貴重な宝になるはずです。ぜひ多く宝を身につけてください。

保護者の皆様、ホームホストの皆様、卒業生の皆様、後援会の皆様方に日頃からお世話になつてお礼を申し上げるとともに、皆様そして新卒業生はこれからもちよちよくぜひ大久保山にお出かけいただき、本庄高等学院生および学院に激励、助言いただければ幸いに存じます。

微力ですがご一緒によりよい学院にして行きたいと努めて参ります。お力添えいただければ幸いに存じます。



卒業生へ贈ることば

保護者の会会長

岩田 浩幸



早大本庄への想い

後援会会長

齋藤 讓一



CHANGE!

生徒会長

藤井 智也



今年度は、改革の一年でした。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。大久保山の自然の中にある本庄高等学院で心豊かに学び、ひとりひとりが希望に満ちて今日を迎えたことを心から嬉しく思っています。みなさんが過ごした本庄高等学院は本当に素晴らしい学院です。恵まれた環境の中でみなさんそれぞれに思う存分自分らしさを發揮して、充実した学院生活を過ごされたことだと思います。

自分らしさとは自分を押し通すことではなく、誠実に興味を持つた事にひたむきな努力を積み重ねる中で自然と周りが自分の魅力を認めるようになることではないでしょうか。みなさんは三年間の学院生活を通しておのおのが自分らしさを発揮し、キラキラと輝いていました。お互いの個性を認め合い一致団結して様々な事を成し遂げてきました。私はそんなみなさんを頼もしく思っています。みなさんは素晴らしい！これから大学へ進学するみなさんほどの道を選んでもいずれは困難にぶつかる事もあると思います。そのときこそ学院生活で培った力を発揮して、その困難に負けずに夢に向かつて前進してください。みなさんの自分らしさの魅力があれば、どんな困難もきっと乗り越えて行けると確信しています。力強く夢に向かつて邁進するみなさんの姿が目に浮かぶようです。

今年は本庄高等学院が男女共学になつて第一期の女子が卒業する記念すべき年でもあります。

新しい時代に向かつて、男子にもまして元気で快活な女子の活躍も大いに期待しています。本庄高等学院で多くの先生方や仲間から授かった知識や知恵そしてパワーを礎に、好奇心の芽を大切に育みつづけて下さい。志を高く持つて大学でさらに自分を磨き、自分らしさを大きく開花させてください。みなさんがどのような見事な自分らしさの花を咲かせるか楽しみにしています。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。大久保山の自然の中にある本庄高等学院で心豊かに学び、ひとりひとりが希望に満ちて今日を迎えたことを心から嬉しく思っています。みなさんが過ごした本庄高等学院は本当に素晴らしい学院です。恵まれた環境の中でみなさんそれぞれに思う存分自分らしさを発揮して、充実した学院生活を過ごされたことだと思います。

自分らしさとは自分を押し通すことではなく、誠実に興味を持つた事にひたむきな努力を積み重ねる中で自然と周りが自分の魅力を認めるようになることではないでしょうか。みなさんは三年間の学院生活を通しておのおのが自分らしさを発揮し、キラキラと輝いていました。お互いの個性を認め合い一致団結して様々な事を成し遂げてきました。私はそんなみなさんを頼もしく思っています。みなさんは素晴らしい！これから大学へ進学するみなさんほどの道を選んでもいずれは困難にぶつかる事もあると思います。そのときこそ学院生活で培った力を発揮して、その困難に負けずに夢に向かつて前進してください。みなさんの自分らしさの魅力があれば、どんな困難もきっと乗り越えて行けると確信しています。力強く夢に向かつて邁進するみなさんの姿が目に浮かぶようです。

今年は本庄高等学院が男女共学になつて第一期の女子が卒業する記念すべき年でもあります。

新しい時代に向かつて、男子にもまして元気で快活な女子の活躍も大いに期待しています。本庄高等学院で多くの先生方や仲間から授かった知識や知恵そしてパワーを礎に、好奇心の芽を大切に育みつづけて下さい。志を高く持つて大学でさらに自分を磨き、自分らしさを大きく開花させてください。みなさんがどのような見事な自分らしさの花を咲かせるか楽しみにしています。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。大久保山の自然の中にある本庄高等学院で心豊かに学び、ひとりひとりが希望に満ちて今日を迎えたことを心から嬉しく思っています。みなさんが過ごした本庄高等学院は本当に素晴らしい学院です。恵まれた環境の中でみなさんそれぞれに思う存分自分らしさを発揮して、充実した学院生活を過ごされたことだと思います。

自分らしさとは自分を押し通すことではなく、誠実に興味を持つた事にひたむきな努力を積み重ねる中で自然と周りが自分の魅力を認めるようになることではないでしょうか。みなさんは三年間の学院生活を通しておのおのが自分らしさを発揮し、キラキラと輝いていました。お互いの個性を認め合い一致団結して様々な事を成し遂げてきました。私はそんなみなさんを頼もしく思っています。みなさんは素晴らしい！これから大学へ進学するみなさんほどの道を選んでもいずれは困難にぶつかる事もあると思います。そのときこそ学院生活で培った力を発揮して、その困難に負けずに夢に向かつて前進してください。みなさんの自分らしさの魅力があれば、どんな困難もきっと乗り越えて行けると確信しています。力強く夢に向かつて邁進するみなさんの姿が目に浮かぶようです。

今年は本庄高等学院が男女共学になつて第一期の女子が卒業する記念すべき年でもあります。

新しい時代に向かつて、男子にもまして元気で快活な女子の活躍も大いに期待しています。本庄高等学院で多くの先生方や仲間から授かった知識や知恵そしてパワーを礎に、好奇心の芽を大切に育みつづけて下さい。志を高く持つて大学でさらに自分を磨き、自分らしさを大きく開花させてください。みなさんがどのような見事な自分らしさの花を咲かせるか楽しみにしています。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。大久保山の自然の中にある本庄高等学院で心豊かに学び、ひとりひとりが希望に満ちて今日を迎えたことを心から嬉しく思っています。みなさんが過ごした本庄高等学院は本当に素晴らしい学院です。恵まれた環境の中でみなさんそれぞれに思う存分自分らしさを発揮して、充実した学院生活を過ごされたことだと思います。

自分らしさとは自分を押し通すことではなく、誠実に興味を持つた事にひたむきな努力を積み重ねる中で自然と周りが自分の魅力を認めるようになることではないでしょうか。みなさんは三年間の学院生活を通しておのおのが自分らしさを発揮し、キラキラと輝いていました。お互いの個性を認め合い一致団結して様々な事を成し遂げてきました。私はそんなみなさんを頼もしく思っています。みなさんは素晴らしい！これから大学へ進学するみなさんほどの道を選んでもいずれは困難にぶつかる事もあると思います。そのときこそ学院生活で培った力を発揮して、その困難に負けずに夢に向かつて前進してください。みなさんの自分らしさの魅力があれば、どんな困難もきっと乗り越えて行けると確信しています。力強く夢に向かつて邁進するみなさんの姿が目に浮かぶようです。

今年は本庄高等学院が男女共学になつて第一期の女子が卒業する記念すべき年でもあります。

新しい時代に向かつて、男子にもまして元気で快活な女子の活躍も大いに期待しています。本庄高等学院で多くの先生方や仲間から授かった知識や知恵そしてパワーを礎に、好奇心の芽を大切に育みつづけて下さい。志を高く持つて大学でさらに自分を磨き、自分らしさを大きく開花させてください。みなさんがどのような見事な自分らしさの花を咲かせるか楽しみにしています。

10月5日から10日の5泊6日の修学旅行は、約320名が中国・台湾・韓国の3コースに分かれました。インフルエンザや台風の影響で、出発直前まで実施が危ぶまれておりましたが、無事に行われ、各国の交流も含めてとても楽しい思い出ができたことでしょう。



中国コース（北京）

故宮→頤和園→北京オリンピック会場(鳥の巣)→
万里の長城→北京大学付属中学校との交流→
天安門広場



北京の街並



故宮博物館



万里の長城



故宮



故宮



天安門広場



オリンピック会場



北京大学附属中学交流会



頤和園

3年B組主任 福永 泰規

激変する中国を見た。建国60周年。2009北京。訪問先はすべて人であふれ、天安門では大声での会話を余儀なくされた。第24回訪中修学旅行が2年ぶりに復活。大連経由で入国。地下鉄が複数路線開通し、連日見学する世界遺産の観光地は見事に整備。露天の売り子と自転車の波は影を潜め、広く整備された道路は車で渋滞。激変する北京は日本にいる錯覚さえ起させた。北京大学附属中学での共学後初の1日交流。6日間、2009北京で生徒は何を見たのだろうか。

北京コース実行委員長3年G組 児玉 吹生

北京への修学旅行、私にとっては初めての海外旅行でもあって、とても期待が大きかった。もちろんそれだけではなく、高校生活と共に過ごした大切な友達と一緒に時間を過ごすことへの楽しみも、学年単位の大所帯での旅行は高校に入つて1度もなかっただけあって、はかりしれないものだった。北京での6日間はとても大切なものとなり、中国という日本のすぐ近くにあるが何倍も大きな国のこと、何より日本の外の国のこと、大好きな友達と一緒に回れたことが私にとってかけがえのない思い出となつた。

2009年度 修学旅行



韓国コース

釜山(近代歴史館等)→慶州(仏国寺・石窟庵等)→ソウル(NANT鑑賞・統一展望台・水原華城等)→安養外国高等学校



古墳公園



イムジン河の向こうは北朝鮮



安養外国語高校にて佐々木先生に再会



安養外国語高校
ペナント



釜山の街並



どこかがおかしいメニュー



鍋料理



焼き肉

修学旅行という宝物

韓国コース実行委員長 3年G組 宮崎 良太

私は韓国について話してくれと言ったら、おそらく何時間あっても足りないだろう。今回は、そのストーリーのほんの一部だが書かせてもらう。

私の思い出ランキング BEST2は間違いなく焼肉と NANTA である。焼肉は、あの IKKO や米倉涼子もお勧めの店で食べた。その味は、誰もが想像することのできない美味しさに仕上がっているので、ぜひおすすめだ。

NANTA は、食器で音を奏でながら料理を作っていく演劇だ。個性豊かな役者がそろい、飽きることのない作品となっている。このように、韓国は修学旅行にはもったいなくらいの場所であった。

韓国コース 3年B組 坂田 右京

イムジン河の向こうに北朝鮮を見た。
泳いで渡ることもできそうな距離。しかし、こちら側である韓国とはまったく違った色彩に少なからずショックを受けた。緑がなく土の色だけで、見える建物もみすぼらしかった。やはり、この国は荒廃しているのだろうか。以前に観た「J S A」の舞台はここなのかと、映画のシーンが眼に浮かび、涙が出そうになった。

こんな国が現代に存在しているということが信じられない。この修学旅行で、最も印象的だった風景である。



台湾コース

台湾大学体験入学→故宮博物院→台中(九族文化村等)→
国立台中第一高級中学との学校交流→高雄市自由研修



文武廊



台湾大学



台中一中の歓迎



台中一中にて交流会の様子

ありがとう、台中一中

3年A組主任 望月 真帆

「交流日は10月8日だけど、前の日の夕方に学校の周囲を散策されるんですよね?だったら一中生がガイドをしますよ。せっかくだから濃い交流にしましょう。」最初の訪問地台北に着いたとき、台中一中側からこのような連絡が入った。生徒とスタッフ両方にとって嬉しい驚きだった。7日は班ごとに数人ずつ、8日は1対1で交流相手を組んでくれていた。2日間にまたがる交流のインパクトは大きく、8日の朝のバスの中では英語と中国語の発音練習の声があちこちの席で聞こえた。学校を挙げての交流に改めて心から感謝します。

台湾コース実行委員長 3年C組 川本 薫平
3年E組 石川ありさ

台湾の交流校である国立台中第一高級中学との交流は非常に印象的でした。台中についた日の夜、台中一中の生徒に学校周辺の街を案内してもらい街の空気を感じながら友好を深めました。日本とは違った街の活気、特有な雰囲気はとても新鮮に感じました。翌日の一中訪問では楽器隊の演奏と共に一中全校生徒総出で僕たちを盛大に迎えてくれました。時間は短かったですですが、新しい友好関係を築いた二日間に及ぶ交流は修学旅行をよりいっそう充実させたと確信しています。

早稲田本庄高等学院の国際交流 ・SSHプログラムの活動

観察、御幸浜の貨幣石観察を行いました。参加生徒は1A 服部桃子、1D 稲垣恵美、2A 五十幡大地・田村百合絵、2D 向畠有真・朝比奈莉央・千葉未来、2G 山本浩介、引率内野郁夫・半田亨です。



①2009 International Student Science Fair (ISSF)

毎年参加している ISSF(0回目アデレード、1回目バンコク、2回目サン、3回目モンテッソーリ(インド)、4回目京都)ですが、今年は姉妹校であるシンガポールのNJCを会場として5/19(火)～22(金)の間、開催されました。この会は世界の科学教育に関心のある高校が集う、国際高校生科学学会です。今年のテーマは“Empowerment through Science ~Today's Young Scientist, Tomorrow's Global Leader～”です。本庄学院からは3A朝比奈諒・中村夏希、3H大谷崇人、引率半田(情報科)



②2009 Singapore International Science Challenge (SISC)

5/25～31の日程で2A田村百合絵・3A藤井智也・3H小林亘・引率峰真如(数学科)がSingapore National Junior Collegeを会場として国際的な高校生科学コンテスト Singapore International Science Challenge(主催、シンガポール教育省)が開催されました。3つあるchallengeのうち、Design and Build Challenge (LEGOカーの評価)で第1位になりました。また、Future Problem Challengeでdistinction賞(26校中2位～4位に相当)をもらいました。



③The 5th International Intelligent Ironman Creativity Contest

今年で5回目になった、Ironman Contestに今年も招待を受け参加しました。「創造性の教育」を目指す台湾が主催する国際コンテストで、与えられた14のタスクと最終課題に対して36のチームが3日間取り組みます。今年は台南市(私立)長榮大学を会場に、台湾・フランス・ドイツ・韓国・日本の参加の下で行われました。参加者は1E除俊庭、2A遠藤海太郎、3C山下良介、3D丹羽裕太、引率亀田陽子(英語科)、半田亨(情報科)です。



④小笠原研修(8月29日～9月3日)

毎年恒例となった小笠原研修を今年も上記の日程で実施しました。メインテーマの母島における絶滅危惧種オガサワラグワ生態調査に加え、シノーケリングによる海洋生物



⑤台湾国立台中第一高級中学、本庄学院訪問

9月16日(水)、今年も学術交流姉妹校である台湾国立台中第一高級中学の修学旅行団(一中側 SSHクラス生徒36名、教員3名、通訳1名)が本庄学院を訪問し、歓迎セレモニー、昼食会、化学・物理・地学の授業交流、双方の演芸の交換がなされました。今年で4回目になります。



⑥NJC-Waseda Exchange Programme

交流姉妹校である Singapore National Junior College(以下 NJCと略)とは、2008年以来、相互訪問をし、互いの環境を利用した科学教育を行うExchange Programmeを実施しています。今年も、NJCの生徒7名、教員2名が11/4～8に本庄学院を訪れました。今年は男堀川の生物調査とレクチャーに加え、One Day Trip(妙義登山、富岡自然史博物館見学)、授業交流、日星料理大会を行い、交流を深めました。2010年3月にはシンガポールを訪問し、Waseda-NJC Exchange Programmeが行われます。



⑦第2回台湾高瞻計画・日本 SSH計画科学教育交流シンポジウム

11月15日(日)～11月20日(金)の日程で標記シンポジウムへ台湾行政院国家科学委員会より招待を受けました。日本からは本庄学院の他、立命館高校・東工大付属科学技術高校・開邦高校(沖縄)・奈良女子大付属高校(急な都合により欠席)・静岡北高校の6校、その内3校は生徒2名も招待され、本庄学院からは3年春田かすみ・山口永理香が参加しました。



この会は、両計画参加校と管理機関による意見交換を通じ、両国中等科学教育の発展を目的として昨年から行われているものです。本庄学院は、昨年も招待を受けています。

第28回 体育祭 2009.6.4

全学年が共学になって初めての体育祭が6月4日、さわやかな天候の中開催されました。昼には応援部・ブラスバンド部による「紺碧」でたいへん盛り上がり、全員リレーではクラスの団結を深めました。



体育祭実行委員長
豊島 優さん(左) 清水川 文さん

- Q 今年度は、実行委員長、副実行委員長とともに女子で頑張ってくれました。準備段階で大変だったことはありましたか?
- A (委) いえ、無事スムーズにできました。
(副) 委員長さんがとても頑張ってくれたので、他の人は何もすることができないくらいでした。
- Q 全学年共学になったことで、工夫した点はありましたか?
- A 男子のみだった本庄スペシャルリレーの200mに女子を入れました。
- Q 競技の途中、ちょっともめてましたね?
- A 負けたクラスを審判が間違えて勝ち進めてしまったことからトラブルになってしましました。でも、最後は納得してくれてうまく収まったので、良かったです。
- Q 来年度からはどのような体育祭にしてほしいか、後輩たちへ一言お願いします。
- A 元男子校の力強さも残し、盛り上げていってほしいです。

第13回 マラソン大会 2009.12.15

12月15日(火)第13回マラソン大会が行われました。マラソン日和に恵まれ、生徒たちも精いっぱい力を発揮しました。この中から箱根駅伝で活躍する未来の選手が出ることを期待して！



男子1位(陸上部シード)
2年G組 徳留 駿



マラソン大会 優勝者コメント

男子 1位(陸上部シード)
2-G 徳留 駿
2年連続優勝。
きついところも粘れ、気持ち良く走れた。

男子 1位(一般)
1-D 柳 利幸
中学でのサッカーの走りこみの練習が活
きて、頑張った。

女子 1位(陸上部シード)
1-C 杉浦 由香
途中きつかったが、陸上部としての意地
がありプライドで走れた。

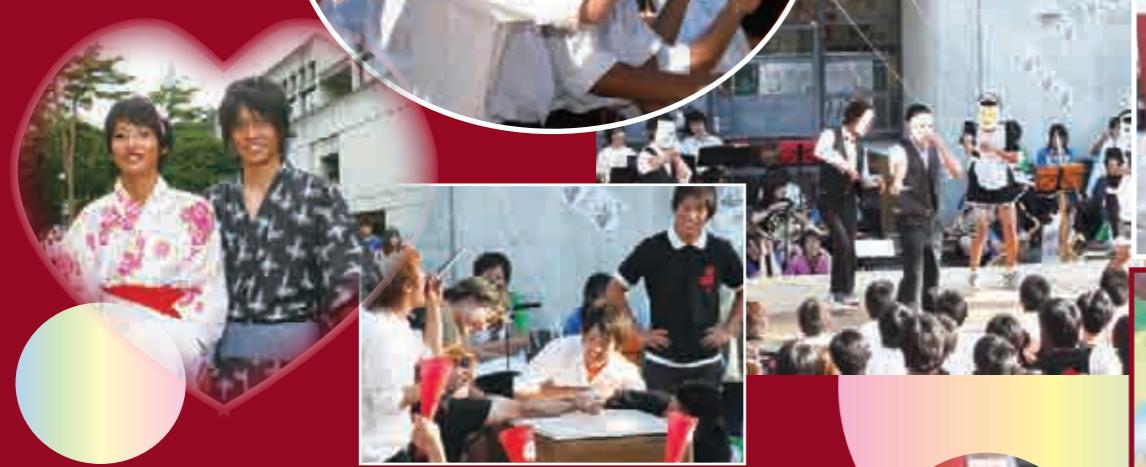
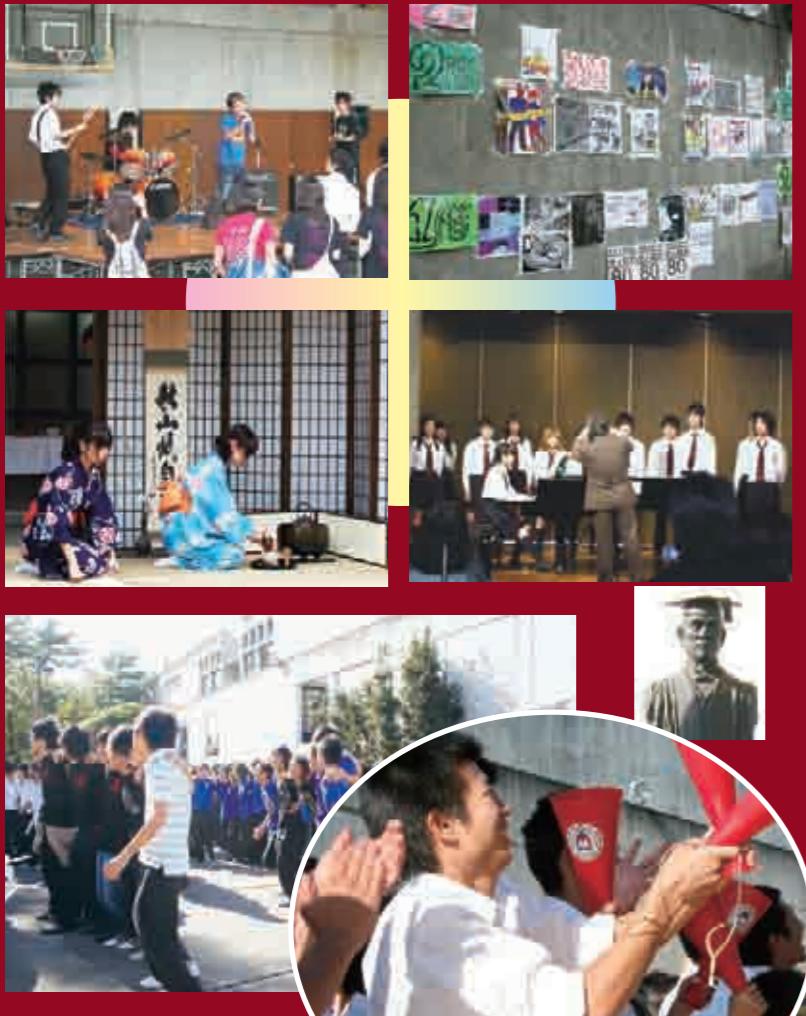
女子 1位(一般)
2-G 日置 綾香
2年連続優勝。部活の帰りにトレーニン
グした成果が出て良かった。



稻陵祭

2009年9月19日(土)・20日(日)

I Won't Be FUN without U



稲陵祭 実行委員長 小田嶋美奈さん
稲陵祭に向けての「W」をデザインした大きなオブジェ作りは、夏休み中に委員に集まってもらい、大変な作業でしたが、一生懸命に協力してもらったおかげで、立派に完成することが出来ました。

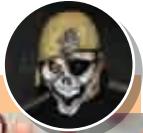
また、全校生徒の皆さんにも「FUN」の文字を2000枚の人形で創る作業に協力してもらい、心強く、嬉しく思いました。

駅や学校で貼って頂くポスターも、手紙を添えてお願いし、私自身もやりつくして虚無感を覚えるくらい頑張りました。

そして、全校生徒と実行委員のおかげで、とても充実した2日間となりました。



稲穂祭 クラスイベント



1年



2年



3年



THE・総括

各部長からのメッセージが届いています。アンケート形式での掲載です。尚、掲載の順番はアイウエオ順です。

各部長からのメッセージが届いています。アン

ケート形式での掲載です。尚、掲載の順番はアイウエオ順です。

③昨年度は、囲碁・将棋共に個人戦で関東大会出場、囲碁団体戦も関東大会出場、今年度は囲碁個人戦で全国大会に出場しています。アットホームな部活で、誰でも気軽に参加できます。初心者大歓迎、兼部も可能です。

入部希望者は気軽に声をかけて下さい。

<http://mori.honjowaseda.com/CLUB/goshogi/>

各部長への質問
①2009年度の部員数
②活動日
(H.P.あり)は学院HPより(杜エクスプレス→部活動情報)で各部の活動をご覧ください
③部のPR、成績、HPなど

◆ESS部 3C 川本 薫平

①男子 1年10名 3年9名
女子 1年20名 2年3名 3年8名

②火・金

③ESS部ではGITS生(大学院留学生)との交流やWYM(プレゼン大会)を通して、ジョグジャカルタ第2高校との交流を行っています。ESS部は活動の幅にとらわれず、部員一人一人が自らの国際交流を積極的に行い日々世界に目を向けています。



◆SSH部 3H 加藤麻里菜
①女子 3年2名
②不定期
③台本書き、監督、準備作業、演技、編集、すべてを自分たちで行う部活です。いま3年生しかいないので、入部すればすぐ部長になれますが、機材も一通りそろっていますので自分たちの作りたい映画を作ることができます。

◆SSH部 3H 小林亘
①男子 1年7名 2年7名 3年5名
女子 1年3名 2年1名 3年4名



◆EMANON部 3H 加藤麻里菜
①女子 3年6名
②月
③やりたいことを部で話し合い、実行する部活ですので、なんでもできます。現在3年生しかいませんが、今までの活動内容は、フェイクスイーツ作りやとんぼ玉作り、文化祭の衣装作りです。友達同士などやりたいことがある方はぜひ。

◆演劇部 3G 庄司 早希

①男子 2年3名
女子 1年1名 2年1名 3年2名

②月・水・木

③演劇部の主な発表の場は、年2回行われる地区大会と、稲穂祭です。脚本選びや大道具作りなど大変なことも多いですが、部員一同力を合わせて本番の舞台に向けて頑張っています。少しでも興味のある方は、是非来て下さい!

◆EMANON部 3H 加藤麻里菜
①女子 3年6名
②月
③やりたいことを部で話し合い、実行する部活ですので、なんでもできます。現在3年生しかいませんが、今までの活動内容は、フェイクスイーツ作りやとんぼ玉作り、文化祭の衣装作りです。友達同士などやりたいことがある方はぜひ。



◆クイズ研究会 3F 新井 悠介

①男子 1年1名

②金

③皆さんも、高校生クイズを見て、おもしろそうだなあ、なんて感じたことはありませんか?そんなあなた、ぜひクイズ研に来てください!飛び入り参加でもかまいません。クイズって楽しい!と思つてもらえるような部活を目指します。

◆演劇部 3G 庄司 早希

①男子 2年3名
女子 1年1名 2年1名 3年2名

②月・水・木

③演劇部の主な発表の場は、年2回行われる地区大会と、稲穂祭です。脚本選びや大道具作りなど大変なことも多いですが、部員一同力を合わせて本番の舞台に向けて頑張っています。少しでも興味のある方は、是非来て下さい!

◆クイズ研究会 3F 新井 悠介

①男子 1年1名

②金

③皆さんも、高校生クイズを見て、おもしろそうだなあ、なんて感じたことはありませんか?そんなあなた、ぜひクイズ研に来てください!飛び入り参加でもかまいません。クイズって楽しい!と思つてもらえるような部活を目指します。

◆応援部 3E 岡田 晃生
<http://souhonengeki.blog17.fc2.com/>

◆応援部 3E 岡田 晃生
①男子 1年2名 3年2名
女子 1年7名 2年18名 3年9名

②月・水・金・土

③女子部員にとつてはゼロからのスタートであります。男子にとつては2年生で部をまかされたといった決して楽な状況ではありませんで

したが、みんなの力でなんとか乗りこえることができました。ただ、男子が2人しかいないので、興味のある方は是非入部してください。

◆囲碁・将棋部 3H 岩田 和久
①男子 1年4名 2年4名 3年3名
②月・火・木・金 (H.P.あり)

◆囲碁・将棋部 3H 岩田 和久
①男子 1年4名 2年4名 3年3名
②月・火・木・金 (H.P.あり)

◆応援部 3E 岡田 晃生
<http://mori.honjowaseda.com/CLUB/glee/>

◆応援部 3E 岡田 晃生
①男子 1年2名 3年2名
女子 1年7名 2年18名 3年9名

②月・水・金・土

③女子部員にとつてはゼロからのスタートであります。男子にとつては2年生で部をまかされたといった決して楽な状況ではありませんで

◆応援部 3E 岡田 晃生
<http://mori.honjowaseda.com/CLUB/glee/>

◆数学研究会

3 A 守屋 貴司
①男子 2年1名 3年1名
女子 1年2名 2年1名

②水

③数学研究会では、数学科の羽田先生の指導の下、毎週水曜日に3時間程授業が行われています。授業では主に、記号論理学や実数論を取り扱っています。学校の普段の授業内容とは大きく異なるので戸惑うかもしれません。が深く考えることの楽しさがわかるでしょう。



①男子 1年16名 2年13名 3年7名
②水・木 河野 裕介 3 E

◆ソフトテニス部

①男子 1年4名 2年5名 3D 丹羽 裕太
女子 1年1名 3年2名 荒井 邑介

②水・土 (HPあり)

③スキー部は現在、黄金時代の真最中です。インターハイ、国体、高校選抜にも出場し、全国レベルで活躍しています。この黄金時代が少しでも長く続くように部員全員が練習に励み、着実に実力を伸ばしているので、これからも頑張っていきたいと思います。

◆政治経済部

①男子 1年5名 2年7名 3年5名 丹羽 裕太
女子 1年8名 2年2名 3年7名

②水・土 (変更の可能性あり)

③この部活動は、政治や経済あるいは法律関係のことなら何でも出来ます。是非自分のやりたいことを見つけてどんどん上級生に提案してください。和気あいあいとした雰囲気ながらやる時はやる人の集まっている部活です。

◆スキー部

①男子 1年4名 2年5名 3D 丹羽 裕太
女子 1年1名 3年2名 荒井 邑介

②水・土 (HPあり)

③ソフトテニス部は、部員のモチベーションを保たせるために1~3年まで基本的に同じメニューで練習し、関東大会・全国大会を目指して頑張っています。

今年は女子がインターハイに出場するなど着実に実力をつけてきているので来年の後輩にも期待しています。

◆体操部

①男子 1年1名 2年3名 3H 山本 昌史
女子 1年1名 2年2名 (HPあり)

②日・月・水・木・金・土

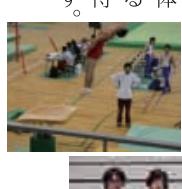
③体操部での活動を通じて、新しいことにチャレンジすることの楽しさや、できるようになったときの喜び・達成感を味わうことができ、非常に楽しめました。後輩たちも楽しく体操が出来るることを期待しています。

◆卓球部

①男子 1年6名 2年9名 3A 森 裕之
女子 2年1名 3年12名

②水・木・金・土 (HPあり)

③この部活動は、卓球部も多少様変わりしたことと思いますが、伝統や良い部分を受け継がれていることと想います。時間を活用し、内容の濃い練習を積み、大会ではこれまで以上の成績を挙げることを心から願っています。



女子 1年1名 2年4名 3年2名
②日・月・火・水・木・金・土
日曜は大会前のみ

(HPあり)

◆天文学部

①男子 1年2名 2年4名 3H 野村 祐介
女子 1年3名 2年2名 3年2名

③私達3年生が引退し、卓球部も多少様変わりしたことと思いますが、伝統や良い部分を受け継がれていることと想います。時間を活用し、内容の濃い練習を積み、大会ではこれまで以上の成績を挙げることを心から願っています。

②火・木
③世界天文年の今年は、部員数が大幅に増え、学校に泊まつたり、山奥まで合宿に行ったり、日食を観測したり、と貴重な体験をしてきました。晴れたら観測、曇つたらランプ、いろんな意味でワイワイガヤガヤ楽しい日々を過ごしています。

④天文部へ！



①男子 1年12名 2年12名 3B 山下部俊之
女子 2年5名 3年7名

②日・月・水・木・金・土 (HPあり)
③バスケットボール部は三浦先生、小林先生、上牧瀬先生のご指導のもと日々練習にはげんでいます。県北では男女共に強豪であるうちのチームはチームワークを大事にし、初心者も一緒に練習しています。興味のある方は気軽に見学に来てください。



◆バスケットボール部

①男子 1年14名 2年11名 3E 町田 翔平
女子 1年16名 2年7名 3年8名

②日・月・火・水・木・土 (HPあり)

③県大会で結果を残せるよう、日々練習に取り組んでいます。練習は金曜日を除き週6日で、朝練もやっています。厳しい部活ですが、合宿など楽しいものもあるので、是非入部してください。



②日・火・水・木・土 (HPあり)
③バスケット部は三浦先生、小林先生、上牧瀬先生のご指導のもと日々練習にはげんでいます。県北では男女共に強豪であるうちのチームはチームワークを大事にし、初心者も一緒に練習しています。興味のある方は気軽に見学に来てください。

ホーム委員会活動報告

スポーツ＆バーべキュー大会 6月13日(土)



ファイト！バスケ



うまい、バーベキュー

稲稟祭模擬店 9月19日(土)・20日(日)



皆大好きなクレープ

大人気のそば飯

ホームボウリング大会 12月9日(水)



優勝の相澤チーム



ナイス・ストライク

ホーム新年会 1月9日(土)



餅つき

bingo game

ホーム委員会は、1年生4名、2年生9名、3年生6名の合計19名の幹事で1年間活動してまいりました。毎年恒例で、6月にはスポーツ＆バーべキュー大会、9月は稲稟祭模擬店の出店、12月はホームボウリング大会、そして1月にホーム新年会が行われています。私たちホーム委員は、取材を通して子供たちの成長ぶりを身近に感じることができました。今年は委員が一丸となり、遠方にいらっしゃるホーム生の保護者様に、「楽しく、そこで見ているような子供たちの生き生きとした姿」をたくさんお伝えしていくことをモットーに活動し、取材してきました。いかがでしたでしょうか？

行事実行委員の藤井君と大谷君のリーダーシップのもと、ホーム生全員の協力、支えてくださる教職員並びにホストの皆様のお陰をもちまして盛会のうちに新年会が終わり、今年度のホーム行事がすべて終了致しました。私たちホーム委員はこのような行事の取材を通して、ホーム生の普段の姿を垣間見ることができました。そしてその様子を少しでも保護者の皆様にお伝えできればと考えています。

ホーム委員会委員長 志村 智子



サブリーダの大谷さん リーダーの藤井さん



文化事業委員会活動報告

大久保山散策ツアー 10月31日



「ANJIN イングリッシュサムライ」観劇会 1月11日



早稲田大学本庄高等学院 保護者の会文化事業委員会

文化事業委員会は、保護者の皆様に子どもたちが3年間学ぶ本庄高等学院、及び早稲田大学を知っていただき、また、学院長や教務の先生方との懇談の機会、そして保護者間の交流の場を設けることを主な目的として活動しており、今年度は21名所属しています。

文化事業委員会では例年、コンサート鑑賞会、歌舞伎観劇、ミュージカル観劇、キャンパスツアー（早稲田、西早稲田、戸山、所沢）、本庄高等学院のある大久保山キャンパス散策等を開催しています。

今年度の主な活動は、10月に学院のある大久保山散策、1月に藤原竜也主演「ANJIN 振鉾イングリッシュサムライ」観劇会を開催しました。特に「ANJIN」観劇会は大人気となり、山崎学院長、吉田先生を始め、約130名の参加がありました。この「ANJIN」には本学院第2期生である、植本潤氏が準主役級で出演しており、また、子役の坂口淳君も学院在校生の弟であるということで、卒業生と学院関係者の活躍に皆大満足でした。

ところで、例年多くの参加を頂き好評を博しているキャンパスツアーは、今年度は新型インフルエンザの流行や、大学側の日程の都合等もあり中止となりました。保護者が早稲田大学や学部における授業の中身について知る良い機会でもあり、来年以降もできるだけ続けて行きたいと考えています。今後は神宮球場での早慶戦観戦、学院出身による講演会の開催等も計画ていきたいと思います。

皆様方のご意見ご希望がございましたら遠慮なくお寄せいただくようお願いします。できるだけ実現していきたいと考えています。

文化事業委員会委員長 川上 昌克





SCENE 1
4月8日
入学式

SCENE 2
5月30日
早慶戦

SCENE 3
7月16~17日
サマーセミナー

SCENE 4
9月9日
人権教育

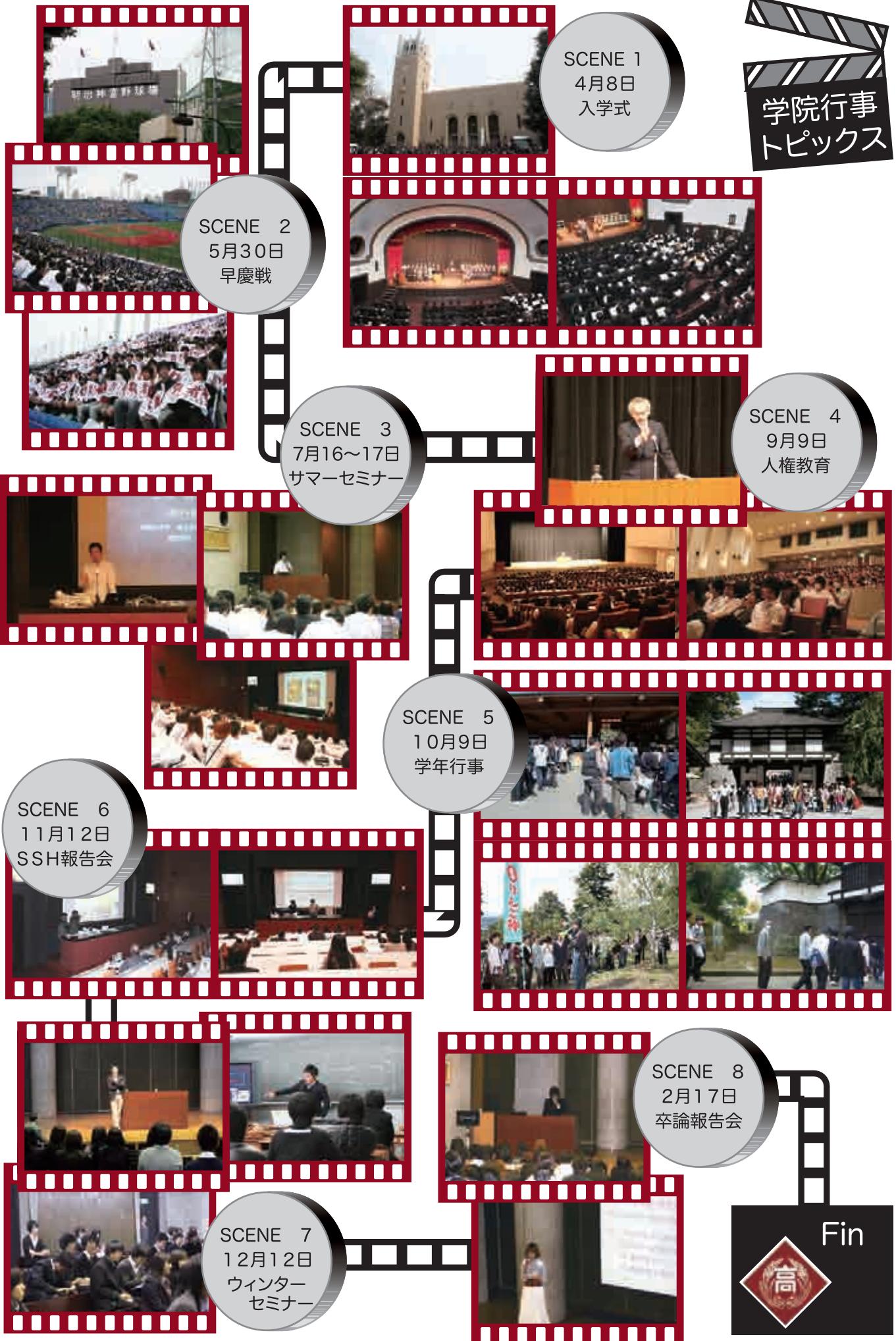
SCENE 5
10月9日
学年行事

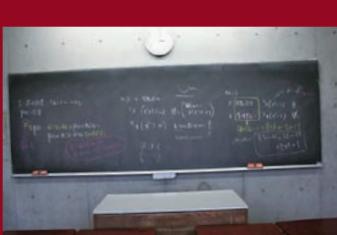
SCENE 6
11月12日
SSH報告会

SCENE 8
2月17日
卒論報告会

SCENE 7
12月12日
ウインター
セミナー

Fin





編集後記

何か行事があると聞きつければ、カメラ片手に子供たちの姿を追って走り回り、気が付くと3年間があつという間に終わっていました。まるで自分も一緒に行事に参加しているような気持ちになって楽しんできた気がします。

カメラやパソコンの操作なども、先輩の幹事さんからひとつひとつ教えてもらいながら、自分の記事や写真がホームページに載った時にはちょっとびり恥ずかしかったけれど、うれしくもありました。

ホームページ「杜エクスプレス」では、個人情報、肖像権、人格権等の問題と対峙しながら今年度も試行錯誤を重ね、保護者の会としてできる限りの範囲で保護者の皆様に学院の様子をお届けして参りましたが、毎年恒例のDVDにつきましては、先に触れました昨今の諸事情もあり、残念ながら断念せざるを得ないこととなりました。この場を借りて皆様にお詫び申し上げます。

その代わりに、この冊子「杜」にて少しでも多くの写真を掲載するべく、ページ数を例年の16ページから20ページに増やしております。この1年間のよき思い出として頂ければ幸いです。

私ども杜編集委員会の活動も、ひとえにいつも快く取材に応じてくれた学院生の皆さん、お忙しい中でご協力頂いた先生方をはじめ、陰ながら支えてくださった事務所の皆さん、いろんなサポートをしてくださった後援会の皆様、そして暖かく見守ってくださった保護者の皆様のお陰と、厚く御礼申し上げます。

そして、いつも万障繰り上げて取材、編集にと駆け回ってくれた杜編集委員会の皆さんと共に過ごせたこと、心から感謝です！

杜編集委員会委員長 坂田 敦子

2009年度 杜編集委員会



3A 黒岩智絵子 3A 古澤ひとみ 3A 安田すみえ 3B 坂田敦子
3G 井口和代 3G 多田知子 3G 濱野園子 3H 山口和男
3H 岩田浩幸（会長）
2B 鈴木雅子 2B 永井美枝 2D 山本敦子 2F 木暮真澄
2G 青木浩美 2G 菅原理恵 2E 西本好雄（副会長）
1B 福井真純 1C 棚橋ゆかり 1C 堀田チサコ 1F 阿部優子
1G 奥原久美江 1G 鈴木淳子 1H 松本裕子 1F 福井正人（副会長）
利根川博司（学院） 上田太郎（学院）

保護者の会だより「杜」第33号 2010年3月7日発行
発行 早稲田大学本庄高等学院保護者の会
編集 早稲田大学本庄高等学院保護者の会 「杜」編集委員会
住所 埼玉県本庄市西富田1136
印刷 有限会社 本庄孔版社